



足立の入院費助成

十五日開かれた足立区議会本会議の一般質問で、日本共産党の大島芳江区議は、現在小学校三年生まで実施している入院医療費助成の拡充や、認可外保育所利用者への負担軽減のための支援制度を求めました。区は、子ども医療費助成制度の拡大について、「来年度から入院医療費の助成対象を中学校三年生まで拡充する方向で検討している」ことを明らかにしました。

中3まで拡充検討

大島区議に区が答弁

また、認証保育所等利用者への助成制度は、「利用者の負担軽減と利用促進のために必要な制度」と区の認識を示し、「現在来年度からの制度創設に向けて、助成対象、助成金額、支払方法、システム開発などの検討を進めている」と答弁しました。

日本共産党区議団は、昨年六月議会に、中学三年生までの入院医療費助成の条例提案を行い、自民・公明・民主の反対で昨年九月議会で否決されましたが、その後粘り強く要求し実現したものです。